

株主の皆様へ

「緊急対策プラン」と「緊急収支改善策」で、1,000億円を超える収支改善を実行

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当第1四半期は、世界的な景気後退の影響に加え、新型インフルエンザによる航空需要の落ち込みが重なり、特に国際線旅客事業と貨物事業が甚大な影響を受けました。そのため、運航機材の小型化などにより営業費用の圧縮を図りましたが、残念ながら大幅な減収減益となりました。

このような厳しい環境に対応するために、期初に計画した730億円の「緊急対策プラン」に加え、第2四半期以降でさらに300億円の収支改善を行う「緊急収支改善策」を実施することを決定しました。各種の収支改善策を実行し、確実に利益を生み出す体質への変革を図ってまいります。

さらに当社は、2010年の首都圏空港再拡張を前に、航空機等の設備投資資金の確保と財務基盤の安定を目的として、公募増資を行いました。増資により得られた資金を有効に活用し、株主価値を高めるために最大限努力してまいりますので、本件につきまして、株主の皆様のご理解を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

ところで、今秋から羽田発の主要国内幹線を皮切りに「ANAカーボン・オフセットプログラム」を導入いたします。これは、飛行機を利用した際に排出される二酸化炭素のうち、お客様ご自身の排出量を算出し、



手軽にオフセット（相殺）できるプログラムです。低炭素社会への取り組みとして民間企業の立場から推進してまいります。

安全で快適な空の旅をご提供するために、ANAグループはこれからも常に挑戦し続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

2009年9月

代表取締役社長

伊東 信一郎